

# あおやぎ

No.297  
2024年4月



泌尿器科 坂上里絵先生提供

## 新院長 就任あいさつ ②

健康指導シリーズ第7回

## 糖尿病について ③

## DMAT活動報告 ④⑤

## 「看護の日」を知っていますか？ ⑤

INFORMATION

## ロビーコンサート再開に向けた演者の募集 ⑤

## 外来診療案内 ⑥

## 県立中央病院の理念と方向性

〈理念〉

### 県民の健康と生命を支える安心と信頼の医療

- ・患者の権利と意思を尊重し、高度で良質、適正な患者中心の医療を提供します。
- ・医療従事者としての倫理綱領を守ります。
- ・最適ながん医療と生活習慣病対策を推進します。
- ・信頼される救急医療を提供します。
- ・地域医療、福祉との連携をします。
- ・将来を担う医療人の教育、育成を行います。
- ・公共性に配慮した健全な病院経営を目指します。



# 新院長 就任あいさつ

## 地域に開かれた信頼される病院を目指して

院長 鈴木 克典



2024年4月より、山形県立中央病院・第13代院長を拝命しました鈴木克典です。どうぞよろしくお願いいたします。私は山形生まれ、山形育ち、これまでの人生で1年間しか、山形県以外に住んだ事はありませんので生粋の山形人です。1988年に山形大学医学部を卒業後、消化器内科（第二内科）へ入局し、県内4つの病院で研修しました。山形県内をぐるっと回り、各地域の方言はマスターしています。その後研究のため大学に戻りました。私が医師になった次の年の1989年にC型肝炎が発見され、この病気は結核に次ぐ第二の国民病と言われました。この発見がきっかけとなり肝臓専門医を目指すことにしました。肝炎の研究で博士号を取得した後、1996年当院に赴任し、以来27年間ずっと継続してこの病院に勤めています。「患者さんと共に」を合言葉に、肝炎・肝がん治療に邁進してきました。県内の先生方と協力し、2021年山形県が肝がんの罹患率や死亡率が全国一低い県になったことは私の誇りです。病院移転時に県内で初めて開設した緩和ケア病棟の開設に関わったり、厚生労働省の研究班「がん相談や情報の提供に関する研究」に参加したり、「誰一人取り残さないがん対策」を念頭に医師生活を送ってきました。

当院は「県民の健康と生命を守る安心と信頼の医療」を理念とし、地域に開かれた病院を目指しています。青柳に移転してから早23年が経過しました。ドクターヘリの基地を併設した救命救急センター、総合周産期母子医療センター、都道府県がん診療連

携拠点病院、基幹災害医療センター、第一種感染症指定医療機関など社会的に重要な役割を担ってきました。2020年初頭から新型コロナウイルス感染症が流行しました。日本の医療界は、様々な困難に直面しましたが、当院はコロナ対策の中心的役割を果たし、職員の勇気と努力により、多くの患者さんの命を救うことができたと思っています。臨床研修指定病院として毎年多くの初期研修医や、県立保健医療大学や看護学校から多くの実習生を受け入れるなど医療人の育成にも取り組んでいます。若い人達は病院に活気をもたらしてくれます。

少子高齢化に伴い、当病院を取り巻く環境は大きく変化してきています。地域医療構想の中で、高度で専門的な医療を提供するいわゆる高度急性期病院の機能を担っています。その一方で、2024年度から施行される働き方改革による労働時間の削減という新たな課題にも挑戦することになります。また当院は紹介受診重点医療機関に指定されています。皆様が必要とする医療を十分に、かつ継続して提供できるように、業務の効率化に努力を重ねて参りますので、県民の皆様にはご理解とご協力をお願いしたいと思います。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、まだ制限はありますが以前の日常生活を取り戻そうとしています。コロナ禍で中止されていた病院祭りなどの行事が復活していくと思います。笑顔でお会いできる日を心待ちにしております。

### 【略歴】

|       |                              |                          |
|-------|------------------------------|--------------------------|
| 昭和37年 | 山形市生まれ                       |                          |
| 昭和56年 | 山形東高等学校卒業                    |                          |
| 昭和63年 | 山形大学医学部卒業<br>(第10期生)、消化器内科入局 |                          |
| 昭和63年 | 10月                          | 最上町立病院勤務                 |
| 平成元年  | 4月                           | 米沢市立病院勤務                 |
| 平成3年  | 10月                          | 小国町立病院勤務                 |
| 平成4年  | 10月                          | 鶴岡市立荘内病院勤務               |
| 平成5年  | 10月                          | 山形大学医学部第二内科医員            |
| 平成8年  | 4月                           | 山形大学医学部<br>第二内科 助手（文部教官） |
| 平成8年  | 9月                           | 山形県立中央病院 内科医長            |
| 平成19年 | 4月                           | 同 地域医療部副部長               |
| 平成25年 | 4月                           | 同 医療情報部長                 |
| 平成31年 | 4月                           | 同 副院長                    |
| 令和6年  | 4月                           | 同 院長                     |

### 【資格】 専門医、指導医など

医師臨床研修指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医（東北支部評議委員）  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医（東北支部評議委員）  
日本肝臓学会専門医、指導医  
日本消化器がん検診学会認定医（東北支部評議委員）  
日本内科学会認定医  
日本超音波学会専門医・指導医

### 【備考】 その他の役職

山形県がん診療連携協議会がん相談支援部会長  
がん診療連携拠点病院等の次期基本計画策定に向けてのWGメンバー  
厚労班がん情報・研究班メンバー  
山形県臨床研修指導医講習会タスクフォース  
山形県がん教育推進協議会委員

## 健康指導シリーズ 第7回

# 糖尿病について

糖尿病・内分泌内科 科長 山口 宏

### 1. 糖尿病とインスリン

糖尿病は慢性的に血糖値（血液中のブドウ糖の濃度）が高くなる病気です。インスリンはすい臓から分泌され、私たちの体内で血糖値を下げる唯一のホルモンです。インスリンを出せなくなったり、インスリンの効き目が悪くなったりする（これをインスリン抵抗性といいます）と、血糖値が高くなってしまい糖尿病と診断されます。

自分のインスリンをほとんど出せなくなるのが1型糖尿病で、インスリン注射が不可欠になります。これに対し2型糖尿病は、インスリンの分泌やインスリン抵抗性の程度が人によってまちまちなため、その人に合った治療法が選択されます。

### 2. 糖尿病と診断される基準は？

空腹時血糖値126mg/dL以上（正常110mg/dL未満）、または食後の血糖値が200mg/dL以上、HbA1c6.5%以上ならば糖尿病と診断されます。HbA1c（ヘモグロビンエーワンシー）は過去1～2か月間の平均血糖値を表す指標です。また、正常と糖尿病の間を境界型（糖尿病予備軍）と言いますが、糖尿病予備軍であっても動脈硬化症の危険度が上がってしまうため、生活習慣の改善などが必要になります。

### 3. 糖尿病の合併症は？

糖尿病の管理が悪い状態が長年続くと全身にさまざまな合併症が起きる可能性が高くなります。細い血管に起きる合併症は、神経障害、網膜症、腎症（あわせて三大合併症）で、太い血管に起こる合併症は主に動脈硬化によるものです。

- 1) 糖尿病性神経障害：神経障害の症状は、足のしびれや痛み、異常感覚、こむらがりなどで、さらに進むと痛みを感じにくくなり、足壊疽の危険が高くなります。また、自律神経の障害により、立ちくらみ、排尿困難、勃起障害、便秘・下痢などの症状があらわれます。
- 2) 糖尿病性網膜症：眼底に出血や白斑が生じ、進行すると視力低下をきたして失明に至ることもあります。早期発見や悪化予防のためには、症状がなくとも定期的な眼科受診が必要です。
- 3) 糖尿病性腎症：腎臓が障害されると尿タンパクが出てきます。腎不全に至ると透析療法が必要になりますが、新規透析導入の原因で最も多いのが糖尿病性腎症です。尿タンパクが少量の場合は、きちんと治療すると腎機能は正常に戻りますが、ある程度進行してしまうと元に戻る事が難しくなります。
- 4) 動脈硬化症：糖尿病があると動脈硬化症の危険度は3～4倍に増えます。動脈硬化症には、心臓を栄養している血管（冠動脈）に起こる狭心症・心筋梗塞、脳の動脈が詰まる脳梗塞、足の血管に起こる末梢動脈疾患があります。動脈硬化症は糖尿病の他にも高血圧症や脂質異常症も関係するため、血糖値のほか血圧やコレステロールの管理も重要です。

### 4. 糖尿病の治療

食事療法、運動療法、薬物治療が3本柱になります。食事では、適正なカロリーにすることと、バランスよく栄養をとることが大切です。

運動によりブドウ糖が消費されて血糖値が下がるだけでなく、インスリンの効き目が良くなって血糖値が下がる効果（インスリン抵抗性の改善）が期待できます。ウォーキングなどの有酸素運動と、筋肉量を増やし筋力を増強するレジスタンス運動も組み合わせるとより効果的です。しかし、合併症のため運動が好ましくない場合もありますので、必ず主治医に確認してから運動を行ってください。薬物治療には飲み薬と注射薬があり、数種類を組み合わせる治療することもあります。薬の種類については省略しますが、きちんと続けていくことが大切です。

# 能登半島地震に

救急科 医長 山田 尚弘

この度令和6年1月1日に発生した能登半島地震において、1月6日から1月8日までDMAT (Disaster Medical Assistance Team, 災害派遣医療チーム) として活動を行って参りました。わたしたちのチームは主に、施設避難を余儀なくされた能登町の介護医療院に入所中の百数名の方々を、安全な地域へ搬送するための調整、および実際の搬送を行いました。ともに現地へ向かった他県のDMATのみなさんと力を合わせ、メンバーひとりひとりが、その時々で何ができるかを積極的に考え、話し合い、行動に移し、無事与えられた責務を全うすることができました。

実際の能登半島は、テレビ等で報道されていた通り、断水と道路状況の悪さが目立ちました。断水によって使えるトイレがほぼなく、手洗いや歯磨き、洗体が満足にできないといった衛生問題が深刻でした。道路ももともと少ない地域であり、それが震災によってさらに通行できる道路が限られた上にその道も万全な状態ではないため、渋滞し、能登半島内を移動するのに数時間を要しました。メディアで報じられている以上に、被災地の方々は心身ともに辛い状況におかれていらしたと実感しました。

しかし、そのような厳しい環境であるにも関わらず、被災地の方々は礼節を保ち、思い遣りの精神にあふれており、わたしたちにねぎらいのお言葉をかけて下さる方もいらっしゃいました。わたし自身深く感動し、「少しでも目の前にいるこの方々のための力になりたい」という気持ちがより強くなったことを覚えています。優しさだけではひとを助けることはできませんが、被災した方々と接しているうちに優しさの大切さを改めて感じました。

DMATの活動は、「実際に被災地の方々のそばで力になりたい」と考えている方にとってかけがえのない選択肢となります。次はこの文章を読んだあなたが、DMATとして、共に手を差し伸べる存在になることを心より願っています。



帰院

## 能登半島地震での災害派遣活動を通して

薬剤部 主任薬剤師 大熊 良和

県立中央病院DMATは3次隊と6次隊の2隊が石川県に派遣され、現地の医療調整本部運営や被災病院支援など、それぞれが自分たちにできることを全うしてきました。今回の災害派遣活動を通して、私は「今後どのように災害と向き合い行動するか」を考える機会が与えられたように感じています。

DMATとしては、今回の活動で感じた課題の解決が必要です。持参資機材の見直しや情報共有の方法などの課題に関してスタッフ間で協議を行っています。また、病院支援の活動から、被災病院での医療活動や患者搬送の大変さを痛感しました。そのため、被災時における病院の行動計画策定も重要と考えます。山形県の災害拠点病院として、災害時でもできる限り病院機能を維持し患者さんの命を守れるように、災害対策マニュアルなどを整理しておく必要があります。

今回の活動から学んだことを必ず次に活かすべく、災害対策委員会を中心に一つ一つの課題を丁寧に整理していきたいと思えます。



現地の道路

# おけるDMAT活動

手術室 主任看護師 宮田 ゆき恵

2024年1月1日16時10分に能登半島で最大震度7の地震が発生し、厚生労働省から派遣要請があり、1月6日から9日までDMAT活動を行いました。亀裂の入る道路を9時間半かけ、石川県の能登総合病院に到着し、1名の患者さんを搬送しました。翌日から、能登町にある柳田温泉病院で病院支援と搬送支援を行いました。

病院では電気は通っていましたが断水し、併設する施設が崩壊していました。私たちのミッションは、入所している残りの患者さん26人を搬送し避難させることでした。活動最終日の1月9日に自衛隊、緊急消防援助隊の協力の元、全員の患者さんの搬送が完了したときは安堵しました。

大雪のため除雪による通行止めや停電、自家発電がないため非常用電源への切り替え作業が必要でした。復旧しても次の停電に備え、備蓄、軽油や酸素ボンベの残量、寒さ対策などの確認作業を通し、平時の準備の大切さを学びました。



現地本部の様子

## 「看護の日」を知っていますか？

看護部 自治会会長 秋場 えみ

現代の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心が必要です。この考えを老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるよう、近代看護の礎を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1990年旧厚生省により5月12日が「看護の日」と制定されました。当院看護部では、県民の皆様の健康と幸せを願い、いつまでも健康で自分らしく過ごしていただけるよう、今年度は下記のような催しを予定しています。皆様楽しんでいただけるような企画をしております。ご来場お待ちしております。

日時：2024年5月14日(火) 10時～14時  
 場所：山形県立中央病院 2階講堂  
 【展示コーナー】職員の子供たちの作品展示  
 【体験コーナー】ACP(人生会議)の動画上映  
 手洗いトレーニングボックス(グリッターパグ)での手洗い演習  
 【測定コーナー】骨密度、血管年齢、肌年齢、体脂肪の測定

※感染対策として不織布マスクの着用にご協力ください。また、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染状況により入場を制限する場合がありますので、ご了承ください。



### INFORMATION ～お知らせ～

## ロビーコンサート再開に向けた演者の募集



当院では、平成13年の新病院開設以来、病院1階においてロビーコンサートを開催して参りましたが、コロナ禍で休止しておりました。

この度、入院されている患者様やご家族の方にも、音楽等を通じて少しでもくつろぎの場をもっていただきたいとの思いから再開することといたしました。

過去のコンサートでは、ピアノ、歌、踊りなど様々な内容で季節を感じていただけるよう、7月は七夕コンサート、12月はクリスマスコンサートなども開いておりました。

原則として毎月第3水曜日の夕方に開催する予定です。

ご出演くださる方を募集いたします。是非多数ご応募ください。

【連絡先】総務課庶務係 工藤 【TEL】023-685-2626 (内線3110)

| ブロック | 診療科         | 診療曜日        |             |             |                      |             | ブロック  | 診療科       | 診療曜日         |             |             |             |             |           |
|------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------------|-------------|-------|-----------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
|      |             | 月           | 火           | 水           | 木                    | 金           |       |           | 月            | 火           | 水           | 木           | 金           |           |
| A    | 内科          | ●           | ●           | ●           | ●                    | ●           | D     | 産婦人科(産科)  | ●<br>要紹介状    | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   |           |
|      | 呼吸器内科       | △           | FAX<br>予約のみ | △           | △                    | FAX<br>予約のみ |       | 産婦人科(婦人科) | FAX<br>予約のみ  | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ |           |
|      | 血液内科        | /           | △           | △           | ●                    | /           |       | 頭頸部・耳鼻咽喉科 | ●<br>要紹介状    | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   |           |
|      | 糖尿病・内分泌内科   | △           | △           | ●           | △                    | △           |       | E         | 小児科<br>新生児内科 | ●           | ●           | ●           | ●           | ●         |
|      | 循環器内科       | ●           | ●           | ●           | ●                    | ●           |       |           | 小児外科         | /           | ●<br>午後のみ   | /           | /           | ●<br>午後のみ |
|      | 消化器内科       | ●           | ●           | ●           | ●                    | ●           |       |           | 皮膚科          | ●           | ●           | ●           | ●           | ●         |
| 整形外科 | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | /                    | 形成外科        | ●     |           | /            | ●           | /           | ●           |             |           |
| B    | 眼科          | ●<br>要紹介状   | /           | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状<br>10:30まで | ●<br>要紹介状   | F     | 外科        | ●            | ●           | ●           | ●           | ●           |           |
|      | 歯科口腔外科      | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ | FAX<br>予約のみ          | FAX<br>予約のみ |       | 呼吸器外科     | /            | ●           | FAX<br>予約のみ | /           | ●           |           |
| C    | 脳神経外科       | ●           | ●           | ●           | ●                    | ●           |       | 乳腺外科      | ●            | ●           | ●           | /           | ●           |           |
|      | 泌尿器科        | ●<br>要紹介状   | △           | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状            | ●<br>要紹介状   |       | 心臓血管外科    | /            | ●           | /           | /           | ●           |           |
|      | 心療内科        | △           | /           | △           | /                    | △           | 緩和医療科 | ●<br>要紹介状 | ●<br>要紹介状    | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   | ●<br>要紹介状   |             |           |
|      | 脳神経内科       | ●           | △           | △           | ●                    | ●           | 放射線科  | 放射線科      | ●            | ●           | ●           | ●           | ●           |           |

### 当院を受診する時は

#### ◎初めて受診される方

- ・総合受付(初来院受付)に診察申込書、問診票及び紹介状(紹介状をお持ちの方)を提出のうえ、受付してください。
- ・総合窓口受付開始時間までは番号札をとってお待ちください。

#### ◎再来の方

- ・予約の有無に関わらず、再来受付機で受付してください。
- ・再来受付機は、午前7時30分からご利用になれます。

#### ◎保険証または保険証利用登録の済んだマイナンバーカードのご提示がないと全額自己負担になります。

マイナンバーカードをご利用の際は、顔認証付きカードリーダーへの登録操作が必要になります。

#### ◎「お薬手帳」をお持ちの方はご持参ください。

### 紹介型外来について

現在、当院においては、一部診療科の外来診療の初診について、紹介型外来による医療提供を実施しており、緊急の場合を除いて、紹介状をお持ちの方のみの受付に限らせていただいております。

- 初めの方・予約の方は受診できます
- △ 予約のある方のみ受診できます

呼吸器内科(火・金)・歯科口腔外科・整形外科・婦人科・呼吸器外科(水)は「かかりつけの先生」からのFAX予約が必要です

※内科の火曜・金曜日は症状によっては受付をお断りする場合があります。

### 非紹介患者初診加算料及び再診加算料について

【令和4年10月1日から金額が変更になりました。】

他の保険医療機関からの紹介がなく、直接当院へ来院された患者さんは、初診に係る費用「非紹介患者初診加算料」として7,700円(税含む)を頂いております。また、当院から他医療機関(大病院を除く)への紹介の申し出後に、当院を受診した患者さんからは「再診加算料」として、3,300円(税含む)を頂いております。ただし、助産にかかる療養費等の場合は、非課税となります。  
※緊急入院等の場合は除きます。

再来患者さんからの電話予約及び予約変更については、患者サポートセンターで受付けております。

**TEL 023-685-2620 (13時～16時)**

「かかりつけの先生」からのFAX予約も受付けております。

**FAX 023-685-2606 (平日/8時30分～18時 土曜/8時30分～14時30分)**